

風薫る五月、細長い日本国は南北季節のうつろいが違います、会員の皆様は東西南北いろいろな地にお住いですが、今どんな自然の変化を感じてお過ごしでしょうか？

指一本でメロディーを奏で、聴いている人を感動させる、この指笛音楽をどんな場所で演奏されていますか。

さて、この指笛音楽の創始者故田村大三先生は今年生誕100年になりました。通信53号は大三先生と指笛音楽の足跡をまとめてみました。

大正2年：4月 秋田県仙北郡高梨村にて誕生

♪♪ 小学6年の時、体操教師の吹く指笛の合図をまねて、人差し指を使って、音を出すことを覚える。

昭和3年：上京「日本印刷学校」に入学、ブラスバンドの一員になり小太鼓を担当、キリスト教に入信、救世軍士官学校入学、肋膜炎再発で帰京。

昭和8年：再び上京、路傍伝道の讚美歌に指笛を取り入れる。

昭和9年：国民新聞（徳富蘇峰発行）に掲載される。神田神保町で「指笛の吹き方」の冊子を売りながら路傍演奏。



♪♪♪路傍演奏は現代では、「パフォーマンス」と言われて注目されていますが、当時の風潮では三度も警察に連行されるなど苦勞の連続でした。♪♪♪

そんなある夜、転機が訪れた。銀座のピアレストランで店主に頼み込み、店で演奏を始めた、「お前、ラジオに出たことがあるか」。紳士は紹介状代わりに名刺をくれた。田村は驚いた。日本の交響楽団を育成した指揮者の近衛秀麿（明

治 31 年～昭和 48 年) だった。田村は名刺を握り締めて、当時愛宕山にあった NHK に向かった。すぐに放送が決まり、その年の 12 月、指笛はラジオで流れた。それからは新聞、雑誌にも取り上げられるようになり、公演依頼が舞い込んだ。(秋田新聞・さきがけ 2001 年 9 月 18 日掲載引用)

指笛普及運動の初期に八木橋次郎氏(熊谷市八木橋デパート)が感銘し後援会が発足

昭和 13 年：9 月初めてコロムビアレコードでレコーディングをする。

昭和 14 年～21 年：日本国内、中国、台湾で演奏活動

ニュース映画「世界ニュース」に取り上げられる、古川緑波、徳川無声、大辻司郎などベテラン談談集団が活躍していた東宝名人会などに出演。

戦後は米軍のキャンプ巡りで江利チエミ、雪村いづみ、ペギー葉山、及田敏夫など有名人とともに活躍。

昭和 29 年：5 月「20 周年記念公演」

日本青年館にて

世界最初の「指笛と管弦楽」高田信一氏の指揮、日本フィルハーモニーと協演。



昭和 30 年：東京音楽奉仕団結成(顧問：賀川豊彦、堀内敬三氏)

******海外公演******

昭和 31 年：ハワイ 1 カ月

ブラジル 3 週間

アメリカ ニューヨークへと 10 カ月の滞在でした。ニューヨークでは「NBC テレビ、トヨタ」の番組で全米に放送され、新聞記事に「人差指のホロビッツ」と載り話題になりました。

テレビ出演は、*「土曜パートナー」TBS *「3 時のあなた」フジテレビ
*「私の秘密」「それは私です」NHK などなど・・・。



堀内敬三氏の言葉

田村さんの指笛を私が聞いてから十何年になるが、田村さんがこの独自の芸境を進めて、今日の成功を見たことはうれしい。音楽の表現の手段は色々有るけれども、前代未開の領土をひろげて行くことは、ますます音楽芸術を拡大し、民衆化する結果を生むので、田村さんの努力はこのさきなお大きな成功をもたらすであろう。指笛は口笛のように万人向きであり、田村さんの場合はそれが芸術としての力を示すところまで高められている。

民衆楽器ハーモニカにコンサート用の楽器としての新生面を開いたラリー・アドラーその他の人々のように、田村さんは指笛からコンサート芸術を生んだ。これはよろこばしい事である。(田村大三指笛音楽六十年記念誌より引用)

昭和 40 年：財団法人・東京善意銀行発足と同時に団体預託第 5 号として登録

昭和 44 年：ヤマハホールに於いて文部省芸術祭参加公演として指笛生活 35 周年記念「田村大三リサイタル」開催・・・東久邇聡子様御臨席。

♪♪♪田村大三先生の指笛音楽は（田村ファミリーで共演）国内、海外へと響かせていました。♪♪♪

昭和 49 年：指笛発表以来 40 年にして「指笛」という語が国語辞典（三省堂発行）に初めて載る。

昭和 51 年：田村大三先生東京善意銀行友の会会長に就任

♪♪♪新宿ゴージャス広場での年一回の「善意の輪を広げよう」は現在も続いています。今年も 7 月の予定です、だれでも参加できます。

「持てるもので社会に奉仕しよう」の精神で舞台公演の合間を見つけては養護施設、福祉施設、地域の小、中学校で演奏しボランティア

活動を常としていました。♪♪♪

昭和 58 年：東宮御所にて皇太子殿下ご夫妻（現平成天皇）の前で演奏
（長年社会福祉に貢献した方々の表彰式にて）
全国赤十字大会で奉仕活動に対し皇后陛下よりお言葉を戴く。



♪♪♪昭和 30 年代後半からは、門下生たちの演奏活動も始まり「指笛楽友会」が発足。平成 10 年に新たな会則を設けて組織を強化し。練馬区大泉学園町（元田村宅）に集い指笛音楽を学ぶ。（全国に会員約 60 人）♪♪♪

平成元年：米国カーネギーホールでリサイタル（指笛音楽 55 周年記念公演）

平成 4 年：秋田県仙北町南小学校（出身校）に「指笛音楽の里」の碑が落成



平成 5 年：田村大三 80 歳記念公演を日本青年館大ホールで開催

平成 10 年：楽友会通信第一号発行

<遠い思い出>

田村大三（本会名誉会長・指笛音楽創始者）

昭和 9 年 5 月 25 日夕、私は「指笛」に全生命をかける決心のもとに、神田神保町の四つ角に立ったのです。それから 65 年、只々そのことのために生きぬいて参りました。なんと感謝なことでしょう。

普通の人がいきなり街頭に立つということは、相当の覚悟が必要だと思いま

すが、クリスチャンの1人として、それまで何十回となく街頭の一角に立って、所信を述べたことのある小生としては、何の苦もなく実行に移すことが出来たわけではあります。

ある夜のこと、少し晩酌を飲み過ぎたようなおじさんが立ち止り、「お前口に何か小さな笛でも隠してるんじゃないのか」と言うのです。しかもそう言っただけでなく、彼は私の口の中をいろいろな角度から覗き込んでいました。或る時は、指笛を普及することは不衛生に陥りませんかネ、などと言った人もおりました。しかし何と言っても、『我れこれがために生まれたり』の確信の元に今日を迎えることが出来、小生亡き後も指笛の灯は消えないことを思い、只々感謝で一杯です。或る人は指笛を「シテキ」と言い、或る人は「サシブエ」と読み、また或る人は「ユビテキ」と読みました。指を「ユビ」と読んだら笛を「フエ」と読んで下さったらいいのに…と思ったことがありました。

英語の場合、フィンガーフルートと言いたいのですが、フィンガーホイッスルと言う人もおられます。

いずれにせよ、指一本を（くわ）えて、それぞれ自らの“心”を伝えることの出来る喜びを、自分自身のもとに出来たことを、心から喜び合ひましょう。

（楽友会通信 NO1から引用）

平成10年：鹿児島県社会福祉協議会主催、ふれあいプラザにて「なのはなふれあいコンサート」に出演。

平成12年：日本歯科医学会、毎日新聞社主催、東京国際フォーラム・ホールにて「アトラクション演奏」ミニコンサート出演。

9月（財）日本チャリティー協会主催、厚生年金会館ホールにて高齢者など福祉活動推進のためのチャリティーに出演。

社会福祉法人神愛会主催、和歌山県上富田町文化会館にて神愛会30周年コンサートに出演。

平成13年：米寿記念「田村大指笛音楽感謝コンサート」日本青年館大ホールに於いて開催。

平成15年：11月秋田県仙北町より文化功労賞受賞

平成16年：「田村大指笛音楽70周年記念コンサート」を練馬文化センターつつじホールにて開催。

平成17年：指笛音楽71周年記念「田村大三とその門下生による指笛音楽研究発表会」に出演。この出演を最後に演奏活動は休止となり。以後自宅療養に努める事となる。

平成22年：4月24日97歳にて永眠

（書籍「田村大指笛音楽六十年」より引用）

< 事務局より >

会員のみなさまからの近況報告

本年度の指笛音楽研究発表会（田村大三生誕 100 周年記念）開催のお知らせに同封した葉書の中、31 通（含 F A X 1 件）が回収されました。近況等を記載してくださった方がおりますのでご紹介させていただきました。皆さまにお断りなく掲載しましたがお許し下さい。（順不同）

（敬称略）

竹中速雄： ご相談です。2 曲のうち I 曲については指笛とパンフルート演奏をしたいのですが可能でしょうか。（例えば 1 番をパンフルート演奏で、2 番は指笛でというイメージ）

斎藤秀元： 気力・体力の衰えを感じるこの頃、1 日が速く過ぎ去って行きます。これではいかんと思っているのですが・・・？

倉木成伊知： 前回の発表会の後、しばらく指笛を忘れていました。次の発表会も近づいてきたので、また練習を始めなくてはと思っています。今回も「アメリカのナツメロ」シリーズで、ナット・キン・コールの曲をやります。よろしく願います。

中澤 忍： 斎藤会長はじめ役員の皆様のご尽力に感謝しております。会員の私も 100% 努力させていただきます。練習、練習、練習！！に頑張っております

有吉憲行： 最近草笛や指笛の演奏依頼が多く、ボランティアとして出かける機会が増えてきました。

有吉潤子： いつも、大変お世話になっています。編物教室、草笛、指笛、シャンソンをボランティアとして活動しています。1 週間忙しい日々を送っております

塩谷彰宏： 住所変更しました。新住所 〒030-0958 青森市月見野 1-18-5

笹原和則：（出演）久しぶりなので緊張しています。

有賀 猛： 時々指笛の音が、かすれたり、出なくなる事があり苦心しております。音階練習等の基礎練習で克服したいと思います。

杉田隆則： 5/17 J A L O B 会鶴丸賞授賞式 1 曲 5/18 崎陽軒本店 5F ダイナスティー 2~3 曲

武井洋子：（楽友会）通信編集苦慮しています。

水沼武彦： お世話になります。どうぞよろしく願い申し上げます。

片山陽一： 曲目は選曲中です。少し時間をください。

青山久美子： また 15 日（締切り）に遅れてしまい大変申し訳ありません。今年

に入って一度も指笛を吹いていませんので、実際のところ参加を迷っています。夫の病気や義母の介護があり、練習の時間がとれずになりました。一応出演の方向で早めに曲目をご連絡します。

中村倫二：門下生となって20年が過ぎましたが、大きなカベにぶつかって、もがき苦しんでいる今日この頃です。本気度の度合いの違いが上手か下手かに！！

奥津恭子：よろしくお願ひ致します。

坂田泰行：いつも何かとお世話になりまして、まことにありがとうございます。

岩井悠紀夫：当日勤務のため（不参加）、家内がお手伝いいたします。

川上勝二：日々、努力していますが、曲が吹けません。練習場所はいっぱいありますが・・・。

中澤宏則：私、私事、都合により活動を中止・休止いたしております。なお、当日お手伝いはできる限りさせていただきます。

片山俊一：来年こそと、思っています。又日々の練習の大事さを実感しています。お身体にはご自愛ください。

平成 25 年度 5 月以降の「25 の会」、「発表会の練習（4 回あり）」及び「役員会」等の予定は次のとおりです。

(1) 会場 U（ユ一）スタジオ

住所：練馬区東大泉 6-34-28、B-107

電話・FAX：03-3924-6455

携帯：090-2545-2990

時間：いずれも 13 時から 17 時まで

(2) 日程（注意）通信 52 号掲載の日程と異なり一部変更があります。

5 月 26 日（日） 25 の会、発表会の練習（1 回）、役員会

6 月 22 日（土） 25 の会、発表会の練習（2 回）、役員会

7 月 15 日（月）海の日 25 の会、発表会の練習（3 回）、役員会

9 月 16 日（月）敬老の日 25 の会、発表会の練習（4 回）、役員会

9 月 21 日（土）指笛音楽発表会と打ち上げ（反省会）

10 月 26 日（土） 25 の会、通常の練習、役員会

11 月 24 日（日） 25 の会、通常の練習、役員会（総会準備）

編集後記

武井洋子

ほぼ「田村大指笛音楽六十年」の書籍を参考に先生の足跡をまとめました。創始者になることの大変なご苦労、そして先生の悦びと感動を少しでも皆様にお伝え出来たら幸いです。

「小生亡き後も指笛の灯は消えない」と確信なされた故田村大三先生の遺志を一人一人心に刻み指笛音楽の楽しさ感動を広めていきましょう。

9 月に開催される 79 周年指笛音楽研究発表会は先生の魂を感じ生誕 100 周年の年に相応しい心に残る演奏会に致しましょう。

No.54 号通信は有賀猛氏の担当です。皆様の声を是非お知らせください。郵送 FAX、メールで受け付けます。

問い合わせ：事務局 有吉 憲行
齋藤 秀元
有賀 猛